創 新立 版 Š るち を記 あ念 伝事 承業 0

◇発行! 日 平 -成二十 应 年(二〇一二)三月三十

刊

日

ふるさとの伝承

新得町郷土研究会

Р

 $\bigcirc \Diamond$

///勝狩銘 南苦松卜勝板 新闘浦ン 内之武ネ 柱 尋碑四ル • 常/郎/ 小バ野佐 石 柱 学ッ宿幌 校タ之岳 \bigcirc

/塚地· 新の/石 得歴新切 小史内山 学/小の 校新学由 林内校来 地駅// の逓急狩 碑所行勝 // | | | | | 新北ま国 内新り道 神内もの 社尋号桜 /常一並 八小事木

幡学件の

担

当

菊

地

◇体 裁 A4版横書きP55

- ◇発行部数 500部
- ◇表紙題字 安倍範夫
- ◇中表紙写真 石切山 撮影·菊地幸一

が あ 5 き

> 新得町郷土研究会 会長 安 倍 範 夫

新得町の歴史は百十余年を遡ります。未開の原生林野の開拓に身を投じた先人達の苦闘、や がて訪れる町の黎明、そして発展する未来に向かう逞しい開墾魂が本町の発展をもたらし、私達 住民にいるいろか形で脈々と伝えられております。開拓に尽力なされた先人の足跡を私達はなん としても後世に残したい。そんな熱い思いで野呂巳之松氏らが中核となって組織づくりに動いた のは今から30年前であり、その願いが現在の「新得町郷土研究会」の発足でした。

活動としてこれまで先人の取り組んだ諸々を収集し、研究誌「郷土」、「開拓の足跡」等多くの集 録を発刊しました。さらに、平成15年(2003)には広く町民の郷土に対する愛着を深める歴史資料 として「ふるさとの伝承」を刊行しました。「ふるさとの伝承」は、特に児童、生徒の郷土学習の一環 として活用されることをも狙いました。時の流れは、私達の町の生活環境を変えていくものです。 時の動きの中で起因する事象、そして史実の掘り起こしや探究によってこれまでにまどめた収録 冊子にも修正、補足など加筆することの必要性も生じてきました。

平成23年(2011)は、新得町郷土研究会の発足30周年にあたり、これを契機として既刊「ふるさと の伝承」を見直し、改訂版を発刊することにいたしました。この「新版ふるさとの伝承」は、地域住 民の方々が新得町を深く理解し、先人の足跡を知っていただき、本町を正しく理解されることを願 いまとめた冊子でもあります。町民の皆さん、学習に取り組む児童、生徒が親しみやすく、しかも 分かりやすい町の歴史的な事象を収録した冊子になるように務めました。新得町の郷土づくりに 精魂かたむけた先人達の貴重な歩みをより広く知ることで新得町が未来に向けて更なる発展が 叶えられることでしょう。刻々と変貌する現在社会の中で、限られた諸々の制約から事実の誤認、 取り上げた事象などでお気づきの点もございましょう。是非お聞かせください。

最後に、「新版ふるさとの伝承」の集録を刊行するにあたり新得町教育委員会のご理解と多大 なるご支援をいただきましたことに深く感謝をいたし、「あとがき」といたします。

00000 あ新小新新旧

と得・得得狩 がの中町の勝 き地学埋埋線 え 名校蔵蔵 、の文文 倍呼系化化 会び譜包財

長名と蔵* 集併地三 0七.一0 奥P統覧ケ 廃 合 0 歴

史 配 置 図 Ρ

溝 水 担担担担担担担 当当当当当当遺 菊髙秋秋秋安

地橋山山山倍

所

六

Р

 \circ 新新 `業跡

石得得 切の町 山産史 佐遺マ 幌産ツ 川八プ 水P 力 発 電 所

取

水

П

跡

|||

灌

漑

校仏松新型 文仏伝 下峠小屈足 光星足、 富の学足 村由校神岩 牛来の社松 分/由/ 校菅来岩 野/松亨 富光岩トウ 村民松ンシ 牛殉発ネ 神難電ル 社之所の /碑・由 名上職/ 牛富者ペ 神界最ン 社牛霊ケ

小碑沢

中学校(岩松)

/神駅

富社逓

村跡所

牛地跡

小// 学念岩

ふ

新

版

神道之王出

足/馬

駅屈車

の足軌

由水道

来田(無/発で

上祥つ川之つ

灌地跡

漑// 溝十カ

水勝ム

門川イ

遺渡口

構船キ

の場の

由跡地

来/名

/新由

屈得来

小林屈

学署足

校/開

/拓拓

屈殖発

足鉄祥

足営/

7

社屈地子

屈

幡得狩内緒祥佐得高

神機勝国の之幌家橋 社関卜民地地川畜重南

区ン学//流市輝新

跡ネ校新新送場宅得

//道町国地国新広

新新立発八/有得內

得得総祥十佐種亜福

神小合之八幌雄麻山

佐開機及の力付の新

幌校構び由発所由得

小の畜開来電の来佐

/藤験○得水/山ト

上川場〇駅口北小佐

佐マの周逓跡海学幌

幌キ軟年所/道校

小工石記の上拓/

学記サ念由佐殖北

校念イレ来幌鉄新

/碑ロリ/原道得

上//|悲野の墓

佐国Jフ願開由地

幌鉄R/桜拓来/

八新新広由発/新

学地産拓/所由/ 校/試一新取来福

校究碑所水種場北

社学研地ヶ川馬工

地ル/得四跡と/

大奥る 多山さ 優雅の 子彦伝 · · 承 菊秋 地山編 集 幸秀委 敏員 · · 会

琢昭 躬吾

児髙

玉橋

既新 刊得 异町 表郷 紙土 研究会発 研究会発

行

誌

郷

土

創

刊



B北昭 5新和 版得五 横墓十 書地九 きの年 二桜七 月 P

 $\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond$

貴新目体表発 小正児幌一松寿平重得 笠盛玉の男橋・野な駅次裁紙日原・定歴・は長栄先逓 京・定歴・は長栄輩所 知丹雄史岩る力次の跡 木の延・足の跡の上 ノメアン ・ 斉藤山 ノヤー・ 上野 タメバル 東 の 日来 呂勇内・ ロ男内・ 己・重佐つ さな広藤 之村広藤 松田·宗

久 馨保 • 田 松春 浦生 利• 作松 /元

郷 土



 \vdash

 $\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond$ い目体表発 ま 行 次裁紙日 先 人 B狩六 0 5勝十 足 版峠-跡 横 年 めをたずり 書き三二 士 和原な 月 Р 幸 雄

新

屈

」第二号

戦

争

犠

牲

者

池

田

た

0

誌

郷

土

二第

五

믕

雄

 $\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond$ 目体表発 行 石次裁紙日 につどう若者た B二六 5条十 版橋三 横付年 書近十 き水月 三害 八現 Ρ場

冬の 崎得 Δ ラ さの 出 [稼ぎで ん光 لح لح 村影 上 馬 さ を 購 λ 佐え若ち々さ原 ぶ 己 木ん 之林 松平 優

小新

ムた柄拓ラボ・の 足 ウね屈女 ゥ 0 シて足性 記 温 憶 三史 地 を 泉 域 等 こたどり 開 調 粳 査 発 玄 本の佐米鈴石 村億4の木畑 村ご 村においている。 村にはいる。 村にはいる。 大きない。 村にはいる。 村にはいる。 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 、 もない。 、 もない。 もない。 もない。 もない。 もない。 もない。 もない。 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も も も 木ル 1 益 昇ツ貞成 $\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond$

行

B下平

5新成

版内十

横川年

書鉄五

き道月

八橋

 \bigcirc

Р

産入目体表発

遺時次裁紙日

業植

構の

/仮

新小

得屋

駅造

逓り

所/

跡大

/W

鶴な

谷る

トを銘開

篤菊石 農地切 家ト山 石キと 畑さ関 久ん新 成 太 氏 郎 \mathcal{O} 己 之 優松

旧西さ畜 狩村ん産 勝常 振 線次 興 に郎 陰 生殉 \mathcal{O} き難 功 たの 労 #記 を原本芳己 治之 貞ぶ新昇 松

☆

六

+

年

前

0

全

村

全

戸

0

明

細

図

農木村舎村葉所桐得大呂

/役

変道優会仮平

公場林

身

近

に

な

9

た力

石

狩

勝

峠

入

選

祝

賀

会

 \mathcal{O}

若岩い 原木出

幸ウ

雄メ

上・願伊旅

佐機寺藤館

幌関鐘傳/

機谷己

関派之

直区弘松

誌

郷

土」第

四

号

得 岡 町 健 郷 児 土 氏 研 \mathcal{O} 究 戦 会 後 開 \mathcal{O} あ 近 正 俊

藤

郷 土 ||第三号



 $\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond$ ト目体表発 行 ラ次裁紙日 B通平 5 称成 版新四 横内年 書ト三 きン月 五ネ ハル Р

旧中柴南旧所新

旧/鉄正八

直越旧道俊ヶ昇

/部殖

得

Щ

十木

新屋内新家

得旅旅得村

妻一戦九 出 会 が里後十 語塚秘年 1 ると話町 ウ 開駅戸史 3/ 盤 拓逓塚裏 開 屋 作話 拓 地 に \mathcal{O} \mathcal{O} 泊 追 子 L 鈴供野佐片若て田想 呂々桐原 近録 己木 兀 之 正〇 幸 松昇直雄 俊Ρ

林

鉄

道岩

松卜

ネ

ル 斉藤

 \mathcal{O}

新得町郷土研究会

遷小宗堂事新

と里像・務得

新弘旅公所小

の信

開新 拓得 の町 足開 跡基 九 十年



新得町郷土史研究会

 $\Diamond\Diamond\Diamond$ 開目体発 行 拓 の次裁目 足 跡 B平 5成 を 語 版三 る座 縦年 書十 一談会 きー 七月 九 Ρ

その

- 70 -

一山卢神

敏

秀社

他 0 刊 行 物 表 紙 目 次

貞

ば

な

録るそ 北 子延拓脇得足村命屈足育生草佐留生冬記開佐駐ろ失と新新北新り八軌しぐ育新得 し住れ て民ぞとさ命とさ市上問寺足下大活創幌守え稼/墾幌留し敗新得得新得/十道/っ大得市 る師では「中では、「大田町では、「田町では、田町では、「田町では、「田町では、「田町では、「田町では、「田町では、田町では、「田町では、「田町では、「田町では、「田町では、「田町では、田町では、田町では、「田町では、「田町では、田町では、田町では、田町 いをれ る対の 象地 との二と(/こ重/対 栄文変 つ新っ/創 地 れ振校 が開よん藤得殿 に区 思団ら先め ら興の 区 た山き/待市の た得た移の しに 化遷 い/し駆/ ナと苦産象 \mathcal{O} れの思 \mathcal{O} 出軍/者佐 た長 青造住こ /こ木合街結 る年田者ろ 課冬渡 ぬ弁い あ キ/の婆婦ウ野なさず 座年 に馬酪/幌 さろ工との末 題稼船 人一出 れ 談住 残の農学高 //0/ く/場や発 々町/ サ田かん人 会ん ぎ場 る徴へ校台 軍日く小 ら新とま祥町 n をで ギヒでノ 民農 隊高ら学 ま四王べを民 人発の建繁 のサ/開 分延 つ国子ずめ体 集い 々/芽設盛 体家 のおし校

 $\Diamond\Diamond\Diamond$ 祥勝拓得苦目体発 之旧発小闘 地国祥学之次裁日 /道之校碑 B =南の地開/ 5成 新桜/校十 版六 内並福之勝 縦年 小木山地川 書三 学由小/渡 き月 校来学佐船 五. 跡/校幌場 /屈跡原跡 Р 上足/野/

川発狩開新

あ

る生

活

教大町

長

吝

藤

教の

長切

佐

Þ

刊

に

ょ

せ

7

刊

あ

た

0

て

長

斉

藤

んとくの 史跡

田

近

正 俊

貴佐仲瓢松身稲裸斉衵狩 名藤田箪浦辺作の藤父勝 \mathcal{O} 牛宗市梨利雑に先ヒの峠 十赤甲末と作記が達口む 神寿太と作記が達口む 社さ郎雀さ(思い 生し もん とい 夢 涯話 で 見 た冬 一夢 \mathcal{O} 涯話 が Щ た 造 野金金若鈴片佐小斉野千材 呂村村原木桐々笠木呂葉想 日 本原 日 想 己 己 木原

松優優雄貞直昇新道松平

私目体発 行 目次裁日 B =5成 版五 縦年 書六 き月 兀 知信之林記 Ρ

 $\Diamond\Diamond\Diamond$

昔ばなし

由「四尋石之石(足小ケ難灌来ま国常サ地切て水学澤之漑 りハ小イ/山つ田校(碑溝・七学口港の)発跡版/土

号八校/立由跡祥/心北勝

」 ケ/新新来/ 之旧駅新川

事所悲得得一力地狩逓内水

件の願駅畜松ム/勝所小門

/由桜逓産浦イ王ト跡学/

バ来の所試武ロ子ン/校菅

ツ/由跡験四キ馬ネ広跡野

も十学ロ道の一発跡

ふるさとの伝承

 $\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond\Diamond$ 発目体表発 うらさてのなる

- 5. 草南内闘行之並切旧跡 · 个新駅之 」地木山狩 · アの内逓碑ま/のの勝銘 /道小跡/り新由由ト板 狩標学/バも内来来ン 勝人校北ッ号小//ネ木 高狩跡新ター学松狩ル柱 原勝/内塚事校浦勝/ 高狩小の件の武旧佐石 原勝学由現由四国幌柱 ?(妈子日兄日日日兄 ? 狩峠校来場来郎道岳 - 勝地跡///野の・ - 上峠蔵/新苦急宿桜石

行 に次裁紙日 A新平 4 得成 版発十 横祥五 書之年 き地九 四碑月

六 木 タ急来/場郎の車ル内/光 Р 塚行/新の野由軌/尋ぺ民 裕 敏 雄 仁 新内軟宿来道屈常ン殉

会新新 則得得 /町の 会史地 員跡名 名マ・ 簿ツ呼 プび 名集

東村/峠//松ぺ由露営川地ロ馬之区町神地ト場広拓由新//株家新小リ 大牛十の上岩小ン来頭林渡/キ車地跡立社/ンの内一来得新佐式畜得学了 雪神勝由富松学ケ//署船屈の軌/地自/藤ネ軟小〇/駅四幌会市神校/ | 伊勝田島松子ケノノ 者応出の肌/ 地日/ 膝不駅小○/ 駅四幌云川で以/ 社ダ来村発校澤岩上/場足由道上/然新川ル石学○新逓国川社場社跡新 /ム/牛電の(松川十跡水来(佐上公得マ/サ校周得所八水跡跡/地得 大「菅小所由岩ト灌勝/田/馬幌佐園境キ新イ跡年発の十カ//高/亜 雪東野中・来心ン漑川屈発屈つ八幌/内エ得ロ/記祥由八発佐北橋北麻 山大光学殉/駅ネ溝左足祥足〜幡原国の記小/道念之来ヶ電幌海重新工 国雪民校職岩逓ル水岸神之開跡神野鉄碑念学J立レ地/所所川道輝得場 立湖殉跡者松所の門火社碑拓/社開新/碑校R畜リ碑悲の取流拓宅墓跡 - 難/慰神跡由遺砕//発カ/拓得新/開新産|及願由水送殖/地﹐ 園/之念霊社/来構流新十祥ム王発機得稲校狩試フび桜来口跡鉄新/福 ・富碑佛碑跡岩/の大得勝之イ子祥関山荷之勝験/開の/跡地道得北山